

# 奥多摩むかし道から見る「廃線」

現在の青梅線は奥多摩駅が終着駅となっています。かつては、小河内ダム建設の工事用資材運搬のために、この奥多摩駅から先へも鉄道が伸びていました。

この鉄道の距離は6.7kmあり、総輸送量は約97万トンという膨大な量の資材を運搬していました。

**※廃線は私有地です。  
絶対に立ち入らず、眺めるだけの見学にとどめて頂くようお願いいたします。**

**①** トンネル・線路・橋桁など様々な遺構がよく確認できる区間。見ごたえあり。  
(おすすめ!)

**②③④** 道路の一段上、B～Dの短い橋桁が連続しています。

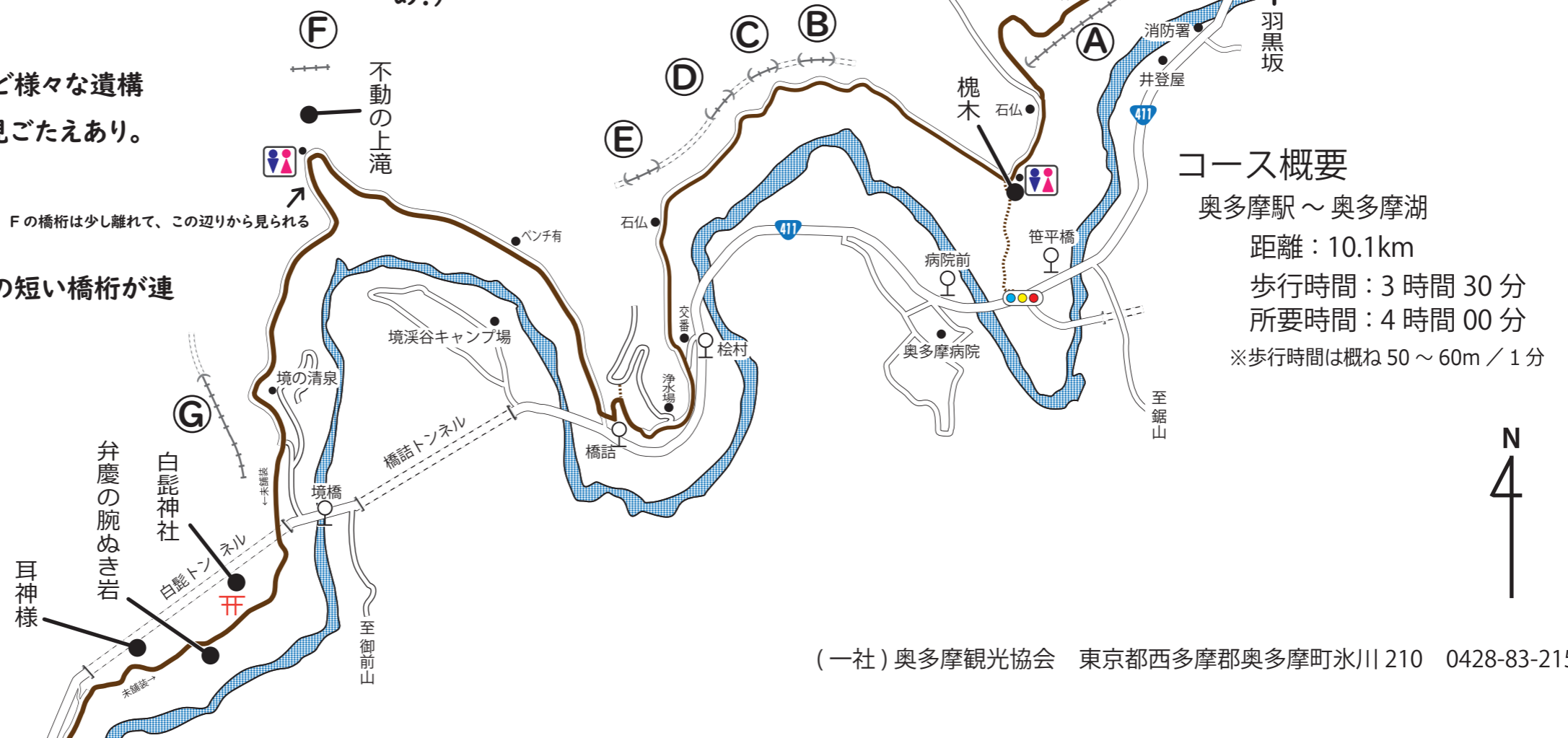
裏面へ続く



**⑤** 道路から奥まった場所に橋桁や橋脚があり、草の伸びた夏に確認するのは難しい。

**⑥** 「不動の上滝」の上部に僅かに橋桁を望めます。

**⑦** 境の集落に覆いかぶさるような立派な鉄橋を見ることができます。(おすすめ!)



むかし道とは別方向だが、アーチ型の美しい橋脚が残る。奥多摩駅より徒歩7分。

**コース概要**  
奥多摩駅～奥多摩湖  
距離：10.1km  
歩行時間：3時間30分  
所要時間：4時間00分  
※歩行時間は概ね50～60m / 1分

# 奥多摩むかし道から見る「廃線」

コース概要

奥多摩駅～奥多摩湖  
距離：10.1km 所要時間：4時間

**H**  
白髭トンネルの上方、橋桁と橋脚を見ることができます。冬季は見ごたえ充分です。

**I**  
青梅街道のすぐ上、橋脚やトンネルを見ることができます。小河内ダムの余水吐と併せて見学するのがおすすめです。

**J**  
青梅街道を跨ぐこの鉄橋はよく目立ちます。その後ほどなく終点の水根駅跡となり、現在は資材置き場になっています。

むかし道とは別方向だが、桃ヶ沢バス停の上方に橋桁・橋脚・トンネルの3つを同時に見ることができます。冬季以外、ほとんど樹木に隠れてしまいます。

※廃線は私有地です。  
絶対に立ち入らず、眺めるだけの見学にとどめて頂くようお願いいたします。

△裏面へ続く▽

